

当会会員の(株)ASCe（札幌市）が、平成30年4月3日(火)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

協働ロボシステム実証

ASCe 菓子など生産省力化

【札幌】ASCe（アスク、札幌市白石区、後藤亮太社長、011・826・5960）は、協働ロボットを活用して生産現場で省力化を図るシステムの開発に向けた実証実験に乗り出す。ラインの切り替えなど、さまざまな作業にも対応できるようにする。主に人手不足が課題の中小菓子メーカーで菓子の詰め合わせ作業などの用途を想定し、2020年の商品化を目指す。

100万円切る価格に

省力化システムは、画像認識システムやさまざまな形状の菓子をつかむことができるアームを持つ協働ロボットなどで構成する。人と並んで作業をする協働ロボットは専用の

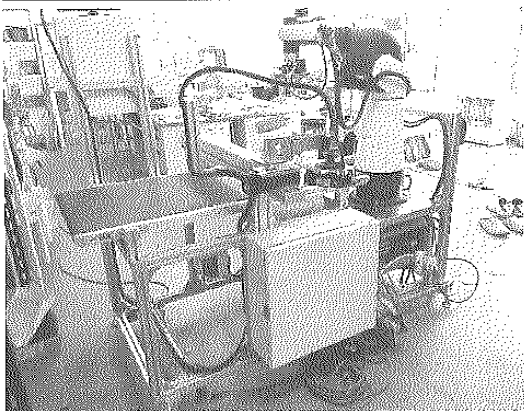
台車に乗せており、必要に応じて移動しやすくする。他の作業者と当たってしまった場合でも、すぐ止まるようにするなど安全面での工夫も施す。

後藤社長は同システム

の開発について「おおよその流れが確認でき、基礎的な段階はめえだ。」

アスクは、自動機械の開発や設計・製作のほか、針を使わず食材に調味液を注入できる機器「ニードルレスインジェクター」などを手がける。

17年9月期の売上高は約2億5000万円。



協働ロボットを活用したアスクの省力化システムのテスト機